

行政運営について 財政運営について

吉野 高史 議員

質問 投票率の低下が続いています。今年行われる市議会議員選挙の投票率アップに向けた対策は。

答 有権者が政治や選挙に関心を持つよう、選挙時に様々な媒体での啓発活動に取り組んでまいります。

質問 以前から防災放送の大切さや必要性を訴えてきましたが、特に、屋外にいる市民の生命・財産を守るため、防災ラジオだけでなく屋外放送も考えていますか。

答 防災ラジオと屋外スピーカーを連動するなど、情報伝達手段については、引き続き総合的な視点で慎重に検討してまいります。

質問 市債を減らしていくということの現状は。

答 現在の市債の合計は329億804万円で、前年度と比較すると7964万円の減少となっています。

要望 本市では行政努力等しっかりとした対応や対策が行われていることを市民に発信し、正しい評価を得られるよう努力してほしい。

質問 須藤市長就任一年目を迎え、私は次の言葉を贈ります。アンデルセンの「裸の王様」は「高い地位にあつて周囲からの批判や反対を受け入れないために真実が見えなくなってしまう」例えの童話ですが、側近にイエスマンや太鼓持ちを置いて、耳の痛いことを言う人を遠ざけてはいけません。

答 貴重なアドバイスありがとうございます。匿名、記名問わず、まちづくりメッセージなどに寄せられた市民の声には必ず対応し、庁内全体で情報の共有を図っております。

質問 市長には積極的に外へ出向いていただき、市民と触れ合う機会をつくるべきですが、その考え方は。

答 広聴活動を概ね1時間と決め、広範的かつ持続的に意見交換をしています。

質問 待機児童に関する市民からの手紙が私の所に届きました。子育てのしやすいまちはどう生かしますか。

答 大変重い市民の声です。教育委員会と連携をして対応してまいります。

表彰 名誉市民顕彰式が 表 執り行われました

6月8日、定例会開会前の本会議場において、名誉市民に推挙されました、前館林市長の故安楽岡一雄氏のご家族に名誉市民顕彰状等を贈呈いたしました。



4名の議員が全国市議会議長会から 永年在職で表彰されました



篠木正明 議員 遠藤重吉 議員 岡村一男 議員 吉野高史 議員

このたび、全国市議会議長会から篠木正明議員、吉野高史議員、岡村一男議員、遠藤重吉議員の4名の議員が、15年間、地方自治の伸張発展と市政の向上振興に貢献された功績により表彰されました。

これに伴い、6月8日の定例会冒頭に、本会議場において伝達式を行いました。